

第5学年 理科

5年生の家庭学習の課題です。調べるための簡単な参考資料を紹介していますが、本やインターネットなど可能な範囲で、各自が資料を見つけて詳しく調べられるといいと思います。ノートに書きましょう。

家庭学習 1 時間目

人は、科学技術を利用して、暮らしを豊かにしてきました。5 年生では、今まで学んできた自然のきまりを「暮らしにいかす」という考えで深めていきます。

私たちの暮らしを大きく左右するものに「気象現象」があります。気象現象を正しく読み取ることで、暮らしが豊かになったり、命を守ったりすることができます。

5 年生では、「目指せ子ども気象予報士」として初級編・中級編・上級編の学習を行います。上級編が終了したら、気象予報士判定テストを行います。子ども気象予報士を目指して学びを深めてください。まずは、「初級編～雲を調べよう～」からスタートです。

課題 1:「今日は、雨だ。」「雨の天気はすぐにわかります。雨が降ってきているからです。では、今日は「くもり」「はれ」はどのようにきめるのでしょうか。図と言葉でわかりやすく示しましょう。

ヒント:「雲量」とは？

参考資料:資料 1「雲を調べよう」

課題2:天気を判定する大切な要素の「雲」ですが、雲の正体は？自分の考えを書きましょう。またそう考えたわけも書きましょう。

ヒント:雲が多いと雨が降ってきます。自分の考えが書ければ OK です。

課題3:雲を見てみましょう。雲の厚さと色にかかわりがあるでしょうか。またそれはなぜでしょうか。雲の形や位置はどうなりますか。

ヒント:雲が厚いと太陽の光はどうなる？雲の正体から考えると動く？じっとしている？
自分の考えが書ければ OK です。

家庭学習 2時間目

課題4: 雲には基本の10種類の雲があります。10 種類の雲の名前と呼び名を書いてみましょう。

雲には、天気予報に役立つものがあります。基本の雲 10 種類の特徴と天気予報に役立つ情報を書きましょう。

ヒント:雨を降らせる雲は？

参考資料:資料 2「雲を見分けよう」

家庭学習 3時間目

課題3: 雲を観察しましょう。右図のような記録用紙をノートの 1 ページを使って書きましょう。

見られた空の様子から天気予報をしてみましょう。

それぞれの可能な範囲で記録しましょう。

A:その日の気象データ。テレビや新聞の情報を加えてもよい。わかることだけでよい。「風が強い」「乾燥している」など、自分の感じたことを記録するとよい。

B:空全体が見えれば、空全体 360 度を見てスケッチし、名前のわかる雲があったら、名前を記録する。

C:窓から空を見て見える雲をスケッチする。目印の建物を記録しておくともよい。※B か C どちらかでもよい。

D:自分なりのこれからの天気を予想してみよう。○時間後天気とか、明日の天気とか。気づきや感想なども記録する。

参考資料:資料 1「雲を調べよう」

| | |
|-----------------------------|---------|
| A:○月○日() 天気 雲量○・気温・風の強さ | |
| B:全天の様子 | C窓から見た空 |
| D 気づき:天気予報:感想など | |